

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先に連絡ください。

受付 No.	264
研究課題名	カテーテルアブレーション施行患者を対象とした TMDU 多施設レジストリ研究
当院の研究責任者 (所属)	内科 (循環器) 医長 岩山 忠輝
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	笹野 哲郎 東京医科歯科大学医学部附属病院 循環器内科教授 宮崎 晋介 東京医科歯科大学医学部附属病院 寄附講座准教授
本研究の目的	<p>【1. 研究の意義・必要性】 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療は、この 20 年間で確立された治療方法となった。日本においては、この 10 年間施行症例数は増加の一途をたどり、現在年間 8 万例以上の治療がなされている。しかし治療方法・結果に関する情報はほとんどが単施設からの報告に限られており、多施設での報告は乏しく日本全体の状況が十分反映されているとは言い難い。東京医科歯科大学およびその関連施設では、治療の黎明期から多くのアブレーション治療が行われており、これらの情報を統合することで治療方法・治療効果などに関する、より普遍的で精度の高いデータを得ることができ、国内・国外に情報を発信できることが期待できるため本レジストリを企画するに至った。レジストリの情報により最適な治療方法の検索、合併症を回避する方法、経年的な治療の変化のみならず、データの蓄積が進むことで合併症発生の予測等の PrecisionMedicine に用いることができるデータとなると考えられ、医療従事者・患者にとって、よりよい治療戦略の発見につながると考えられる。</p> <p>【2. 研究の目的】 東京医科歯科大学および共同研究施設におけるカテーテルアブレーションの現状 (疾患分類、合併症割合、治療経過、予後等) を解析することにより、カテーテルアブレーションの不整脈診療における有効性・有益性・安全性を明らかにすることを目的とする。その中でも、カテーテルアブレーションによる急性胃拡張症について、共同研究機関として、既存資料・情報の提供のみを行う。</p>
調査データ該当期間	2019 年 9 月から現在まで

研究の方法(使用する試料等)	<p>◆利用する情報</p> <p>2019年9月から現在までカテーテルアブレーションを施行した患者のカルテから、年齢・性別・BMI・基礎疾患・治療対象不整脈・心房細動の種類・症状・投与薬剤・血液検査結果・画像検査結果・アブレーション手技・治療結果・合併症などを登録する。</p>
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	年齢・性別・BMI・基礎疾患・治療対象不整脈・心房細動の種類・症状・投与薬剤・血液検査結果・画像検査結果・アブレーション手技・治療結果・合併症などをエクセルデータとして登録する。
個人情報の取り扱い	研究対象者の個人を特定するような情報は提供されない。研究結果を公表する場合であっても、研究対象者の身元を特定できる情報は保護する。
本研究の資金源(利益相反)	なし
問い合わせ先	<p>電話：0238-46-5000（病院代表番号）</p> <p>担当者：</p> <p>※病院代表番号から医局へ電話を転送します。</p> <p>用件を伝えていただきますと、折り返し担当者より連絡いたします。</p>
備考	